

Bridges

中学校第3学年に在籍している竹内君が留学から帰国し、体験記を寄せてくれました。

私の留学体験記 ～長いようで短い、短いようで長い10か月半、世界はやっぱり広かった～

私は、昨年4月から今年2月中旬までの10か月半、カナダのブリティッシュコロンビア州、キンバリーという町に留学してきました。そこでの私の留学体験を書きたいと思います。

【留学までの経緯】

私が留学したきっかけは、母が強く勧めたからでした。最初は、留学には全く興味はありませんでした。英語もどちらかというと苦手教科でしたし、部活の柔道で中総体にも出たかったし、修学旅行にも行きたかったです。だけど、英語を話せるようになりたいと思う気持ちもあり、さらに留学先の学校では、語学の勉強をしながらアイスホッケーができる環境ということもあって、留学を決断しました。

【2016年4月～6月まで】

キンバリーという町は、カナダ東部のバンクーバーからさらに飛行機で2時間弱、ロッキー山脈のふもとの小さな町です。自然豊かで野生の鹿を至る所で見

かけることができます。この頃の気候は日本の初夏のようにさわやかでした。日本との時差は15時間です。また、カナダは緯度が高いので、夕方になっても暗くなりません。いわゆる白夜です。夜の10時でも日中のように明るくて、外で遊ぶこともできます。時差ボケのせいもありましたが、外がまだ明るいのに寝なければいけないということになかなか慣れませんでした。

ホームステイしたのは、ホストファミリーとマザー、子ども3人、犬1匹、猫2匹の家庭でした。私のほかにドイツ人の留学生もホームステイしていました。ホストファミリーたちは、私に合わせて英語をゆっくり話してくれていたのですが、それでも、まだネイティブな発音やスピードにあまり慣れていなくてほとんど理解できませんでした。私自身もあまり英語が話せなかったのも、身ぶり手ぶり、電子辞書の翻訳機能を用いてでしか意思疎通ができませんでした。最初の1か月が経った頃、急にホームシックになりました。

私が通ったのは地元の公立学校で、スクールバスに乗って登校しました。公立学校なのですが留学生を受け入れる体制が整っていて、日本から留学していた高校生も数名いました。私は、ESL、栄養学、体育、理科の

授業を受けました。ESLとは、English as a Second Languageの略で、日本人留学生向けの英語クラスです。毎週火曜はゲームをしたり、水曜は映画を見て、木曜はダウンタウンに行きました。他の科目の授業中は何を話しているのか全く理解できなかったのですが、調理実習の時や体育などは日本人留学生も一緒だったので、何をするのかを教えてくれて楽しむことができました。昼食は、毎朝自分でサンドイッチを作りお弁当として持参し、食堂で食べました。食堂では、学年関係なく友人同士で自由に座って食べました。

【7月～8月】

学校が夏休みになったので、バンクーバーに移動して新たなホームステイ先に滞在しながら、民間の英語語学学校に通いました。バンクーバーは街の規模も大きく治安も良くて、留学地として人気の街で、学校や学生が多いです。ここでは、日本やアジア各国、ロシアなどから夏休みを利用して短期語学研修に来ている生徒が多く、色々な国の人たちと一緒にクラスで勉強しました。ここでの私の勉強期間は6週間でしたが、毎週月曜日の入校日に新しい生徒が入って、それぞれの勉強期間が終わったら退校するという入れ替わりのあるク

ラスで、1コマ1時間30分の授業を毎日4コマ受けました。放課後には、ボーリングやスケート、カラオケなど日替わりでアクティビティーが予定されていて、参加したいときだけ自由に参加することができ、白夜のため夕方になっても昼間のように遊ぶことができました。週末には近隣の町まで一泊ツアーも企画されていました。私はこの放課後アクティビティーに参加することもありましたが、クラスの友達と遊園地に行ったり、ラーメン屋や焼肉屋牛角のバンクーバー店に行ったりしました。日本も含めて私の初スタバはバンクーバーでした。

【9月～帰国まで】

バンクーバーからまたキンバリーに戻りました。9月からアイスホッケーの授業が始まるので、練習リンクまで歩いて行ける距離にある家庭にホームステイ先が変わりました。ここのホストファミリーには、シングルマザーの日本人と中学2年生の息子がいました。マザーは日本人なので日本語はもちろん話せましたが、勉強に来ているのだからとあえて日本語は使わずに、私のレベルに合わせたスピードと単語で話してくれて、語学力向上に協力してくれました。このファミリーでの私の役割は、駐車場に置いてある薪ストーブ用の薪を室内に運んでくると雪かきでした。こちらの冬は、雪がすごく積もり、気温は-10℃以下になり-20℃なんてこともありました。外を歩いていると厚手の手袋をしているにもかかわらず指が痛くなります。この時期は日が暮れるのが早く、

日照不足になるためビタミンDのサプリメントを飲みました。ホストマザーがスキー場で働いていたので、週末には朝一緒にスキー場に連れて行ってもらい、ホストマザーの仕事が終わるまで私はずっとスキーを楽しんでいました。

学校では新学期が始まり、日本の高校1年生に相当するGrade 10クラスに入りました。私が受けたのはESL、数学、体育(アイスホッケー)、プランニングの授業でした。数学では、中1の頃に習った一次関数を扱うこともあれば、中3で習う三平方の定理がでてきたりしました。プランニングの授業は、自己紹介のパワーポイントを作成し発表したり、ワードで文章を作成したりする内容でした。体育(アイスホッケー)では、スケート場まで移動するスクールバスの中で、みんな親しく話しかけてくれ、たくさん友達ことができました。この頃になると英語での授業内容も徐々に理解できるようになってきました。

そして、ついに帰国の日がきたときは、微妙な気持ちでした。日本へ帰れる嬉しい気持ちと、カナダでまだ過ごしたい、友達と別れたくないという名残惜しい気持ちが混ざっていました。カナダに来て最初のうちは不安だらけの毎日でしたが、帰りたくないと思えるほどに充実した生活を送ることができました。

私はこの10か月間で日常的な会話レベルの英語は身についたと思います。ですが、英語力以上に大切な時間を持つことができ、言葉では言い表すことのできない貴重な体験をすることができました。留学を考えている

方、これを読んで留学に興味を少しでも持った方、夏の間の一週間でもかまいません、ぜひまずは海外に行ってみてください。視野が広がって、自分が考えている以上の「素敵なもの」が必ず得られると思います。



海外研修参加者募集中

中学3年生(現中2生)以上の希望者を対象に、海外研修を実施します。昨年10月より引き続き、参加者を募集しています。

【概要】

平成29年7月21日(金)から
8月7日(月)まで 16泊18日

ニュージャージー州にてホームステイ(期間中にニューヨーク・ワシントンDC・ランカスター研修)

↓
マサチューセッツ州ボストンにて語学研修(学生寮泊)

↓
仙台空港到着・解散

募集要項は、本校ホームページ
<http://www.jhs.tohoku-gakuin.ac.jp/info/content/161018-3.pdf>にてご覧頂けます。

ホストファミリーアンケート

今年8月から来年6月まで、2名の留学生が本校で学びます。ホストファミリーとしての受け入れに関するアンケートを行っていますので、ご協力をお願い致します。